



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和2年6月15日

(宛先)奈良市長

提出者

住 所 大阪市浪速区湊町1丁目2番3号 マルイト難波ビル

氏 名 ㈱浅沼組 大阪本店
常務執行役員 本店長 豊田 彰啓

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6585-5500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項及び奈良市産業廃棄物処理計画作成指導要綱第6条の規定に基づき、平成元年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 浅沼組 大阪本店		
事業場の所在地	大阪市浪速区湊町1丁目2番3号 マルイト難波ビル		
事業の種類	日本標準産業分類の区分 06 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成31年4月1日 から	令和2年3月31日	まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1296.5t	全処理委託量	1296.5t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	606.2t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	1296.5t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

※事務処理欄

〔集計シート〕 産業廃棄物 処理計画実施状況報告書

氏名又は法人名	株式会社 大塚本匠	品質課課長	060-2535-9351
報告担当者名	野 草	電話番号(直通)	

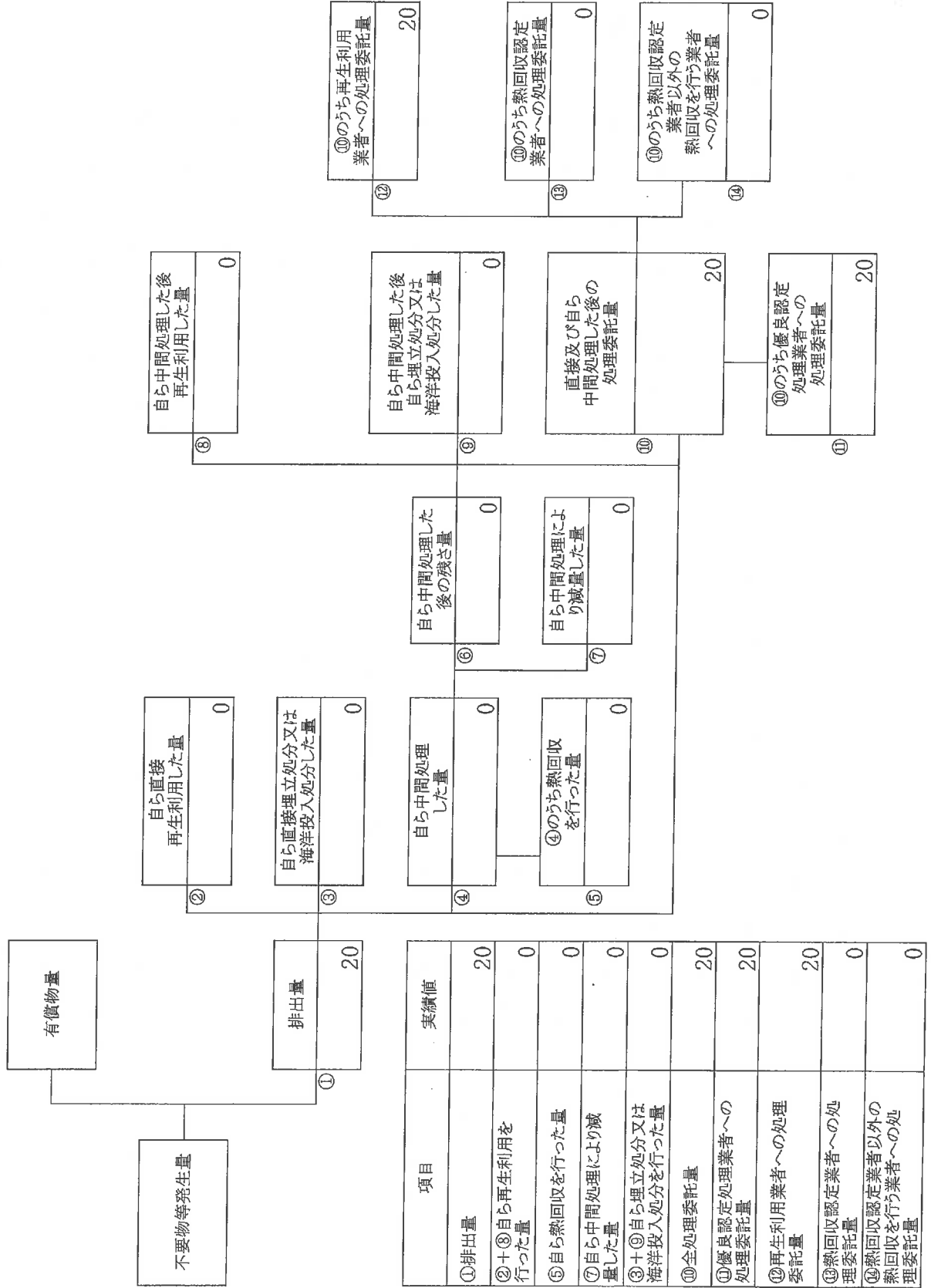
単位:t

廃棄物の種類	排出量	自らの処理を実施				処理委託先の内訳						処理委託先への処理委託量	処理委託後の最終処分量
		中間処理を含む		中間処理後の処理量	中間処理後の再生利用量	再生利用業者	特定業者	特定業者以外(指定業者)	中間処理業者	埋立処分業者			
		自らの再生利用	中間処理										
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	84.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	23.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート塊	40.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アスファルト・コンクリート類	458.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他がれき類	196.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	41.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設廃棄物(普通)	696.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設廃棄物(指定)	203.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水銀使用製品	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1046.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注1)ト:未済は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載可。
 (注2)上記産業廃棄物の品目以外の品目について集計記録があった場合は、その品目欄に追加入力するとともに、第2面の「その他」のシートを記載してください。

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 汚泥)

単位: t

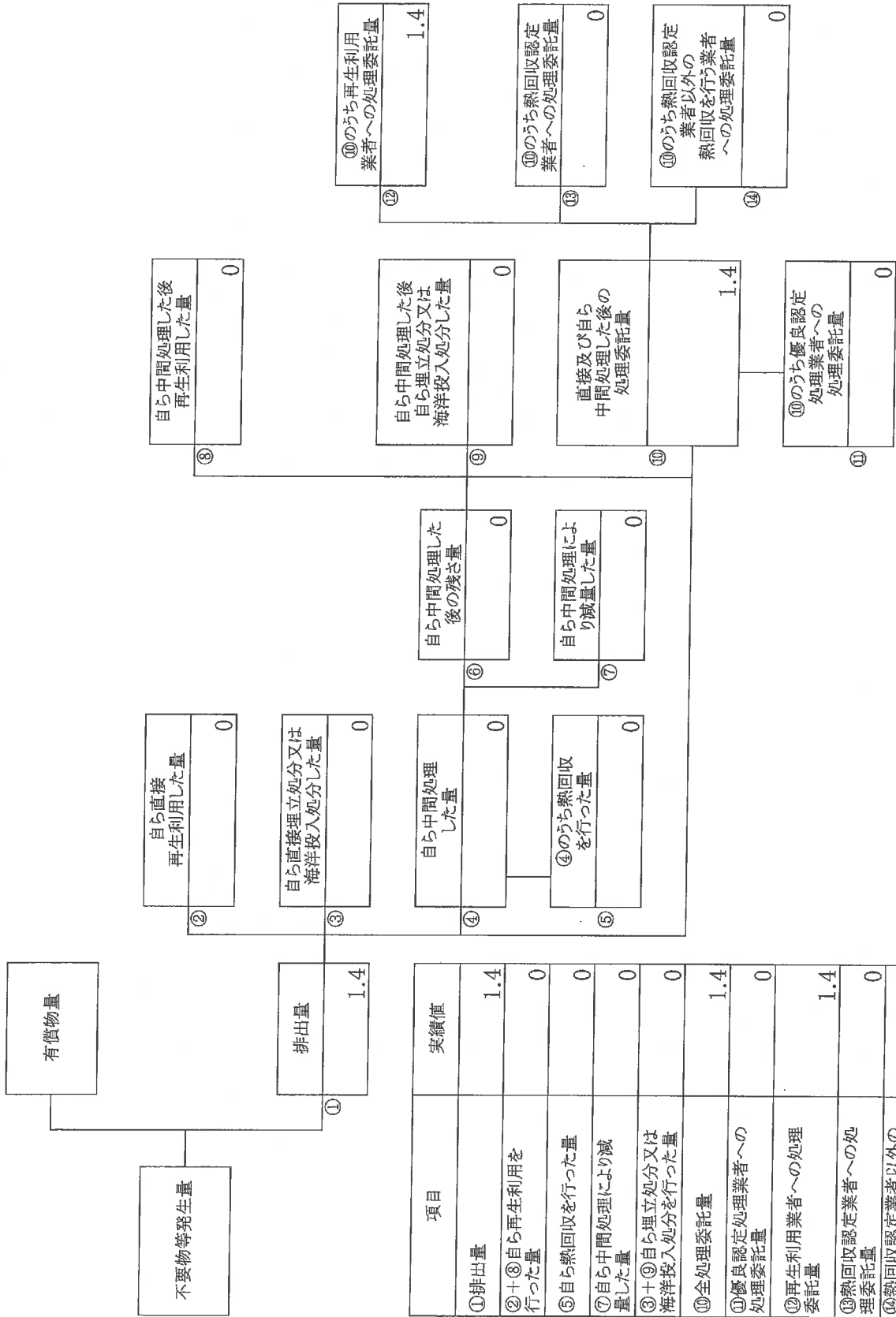


項目	実績値
①排出量	20
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20
⑫再生利用業者への処理委託量	20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

単位:t

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

計画の実施状況

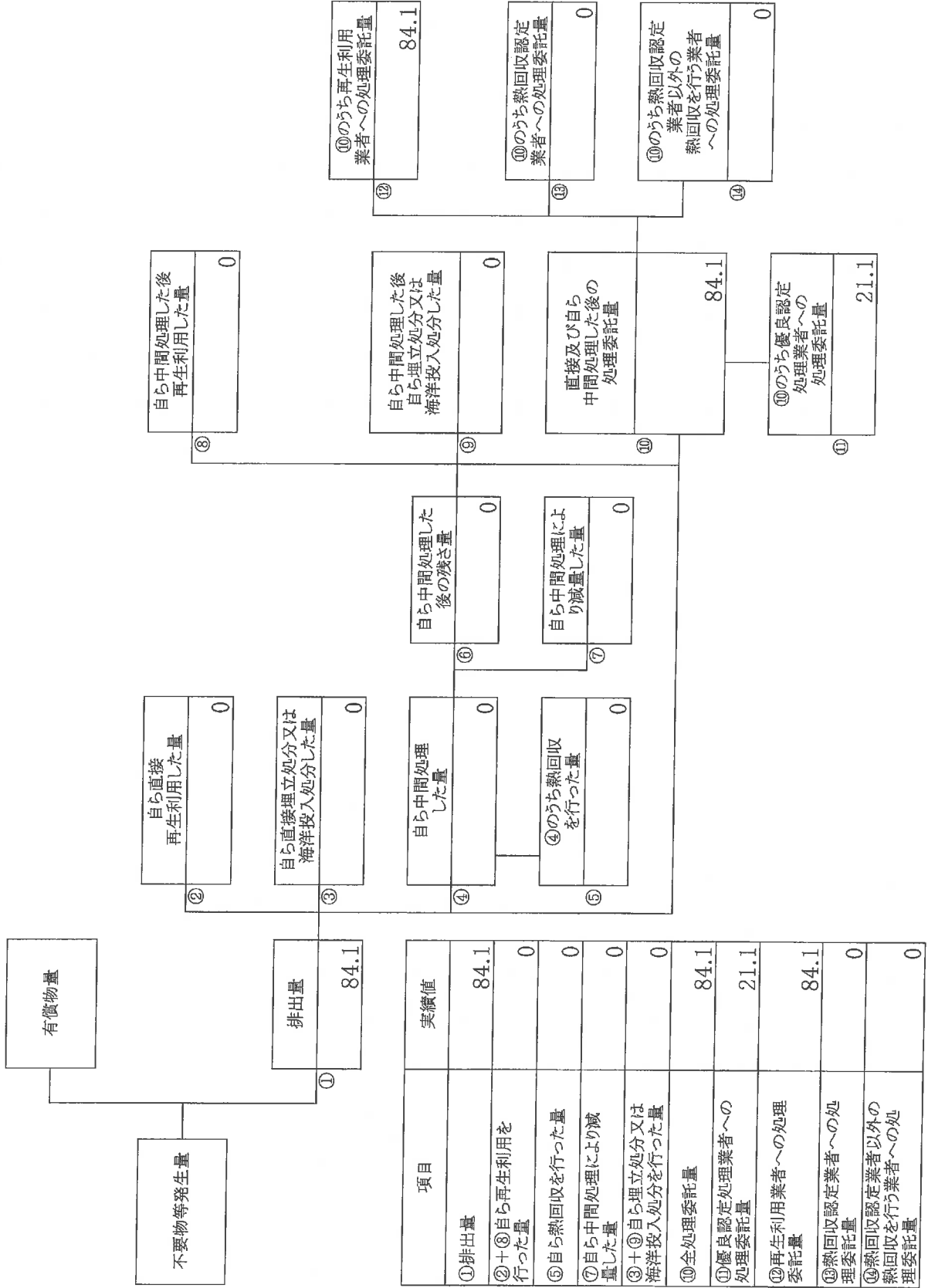


項目	実績値
①排出量	1.4
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.4
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0
⑩再生利用業者への処理委託量	1.4
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

単位:t

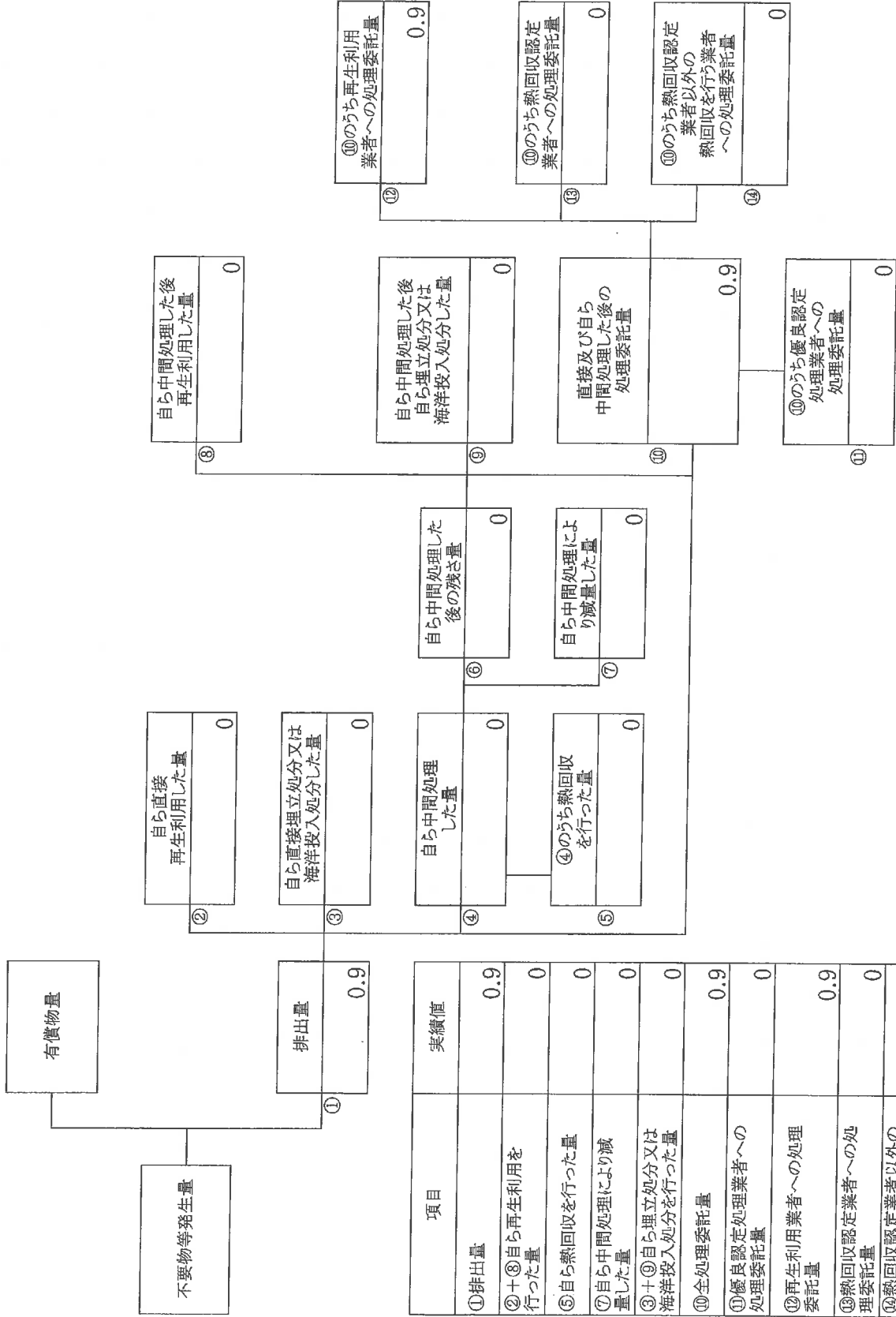


項目	実績値
①排出量	84.1
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	84.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.1
⑫再生利用業者への処理委託量	84.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

単位: t

計画の実施状況

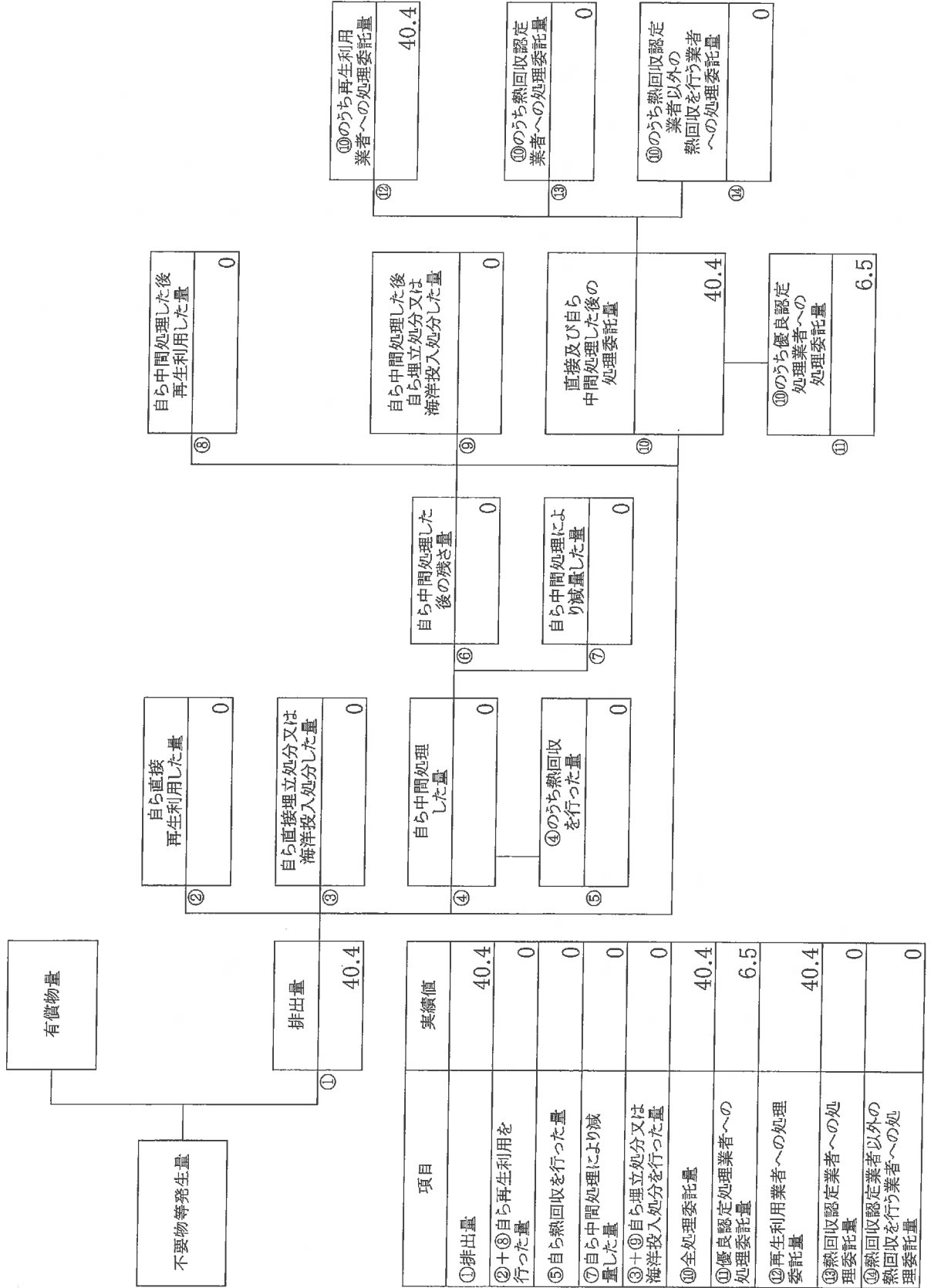


項目	実績値
①排出量	0.9
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

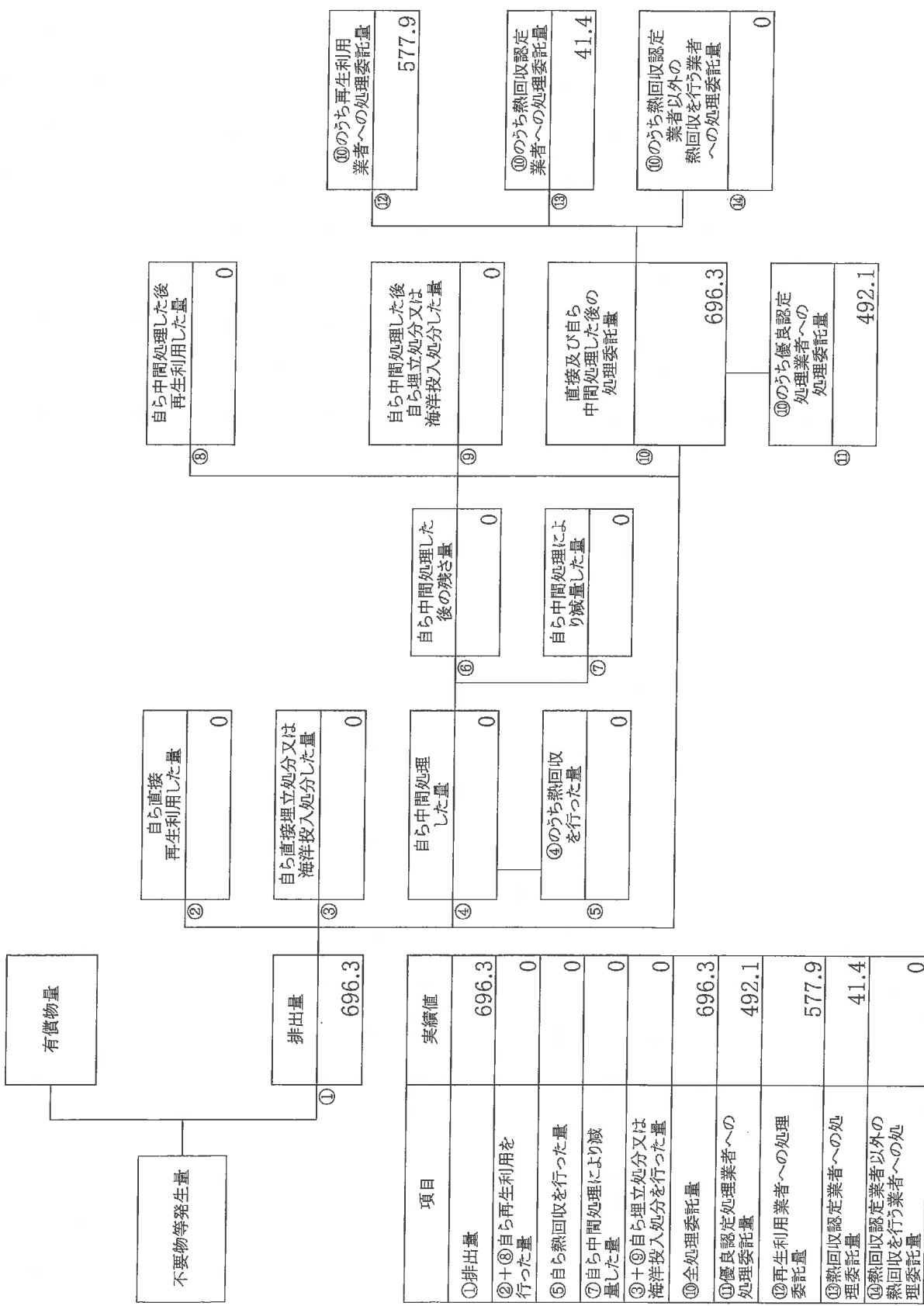
単位：t



単位:t

(産業廃棄物の種類: がれき類)

計画の実施状況

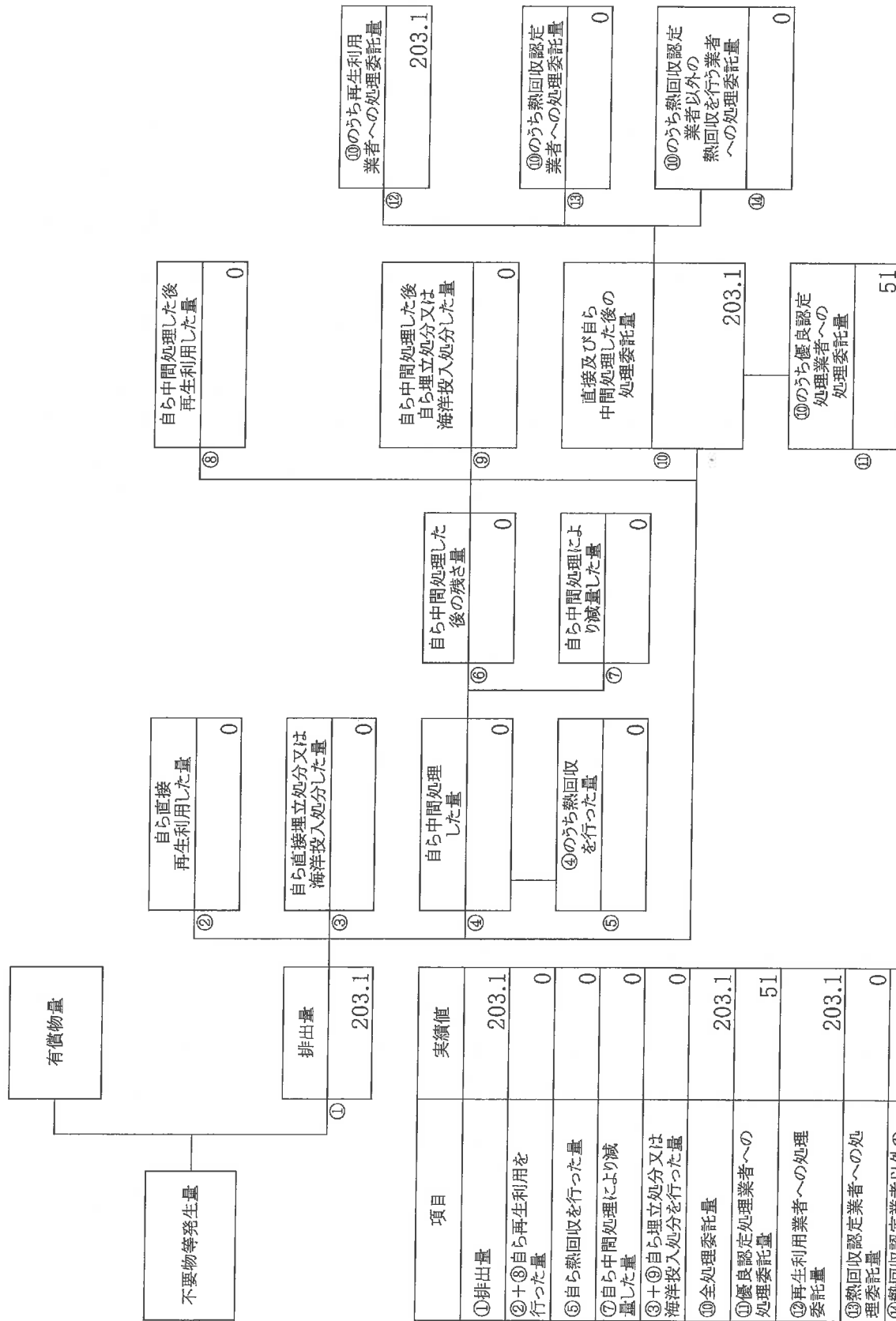


項目	実績値
①排出量	696.3
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	696.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	492.1
⑫再生利用者への処理委託量	577.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	41.4
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物)

単位：t

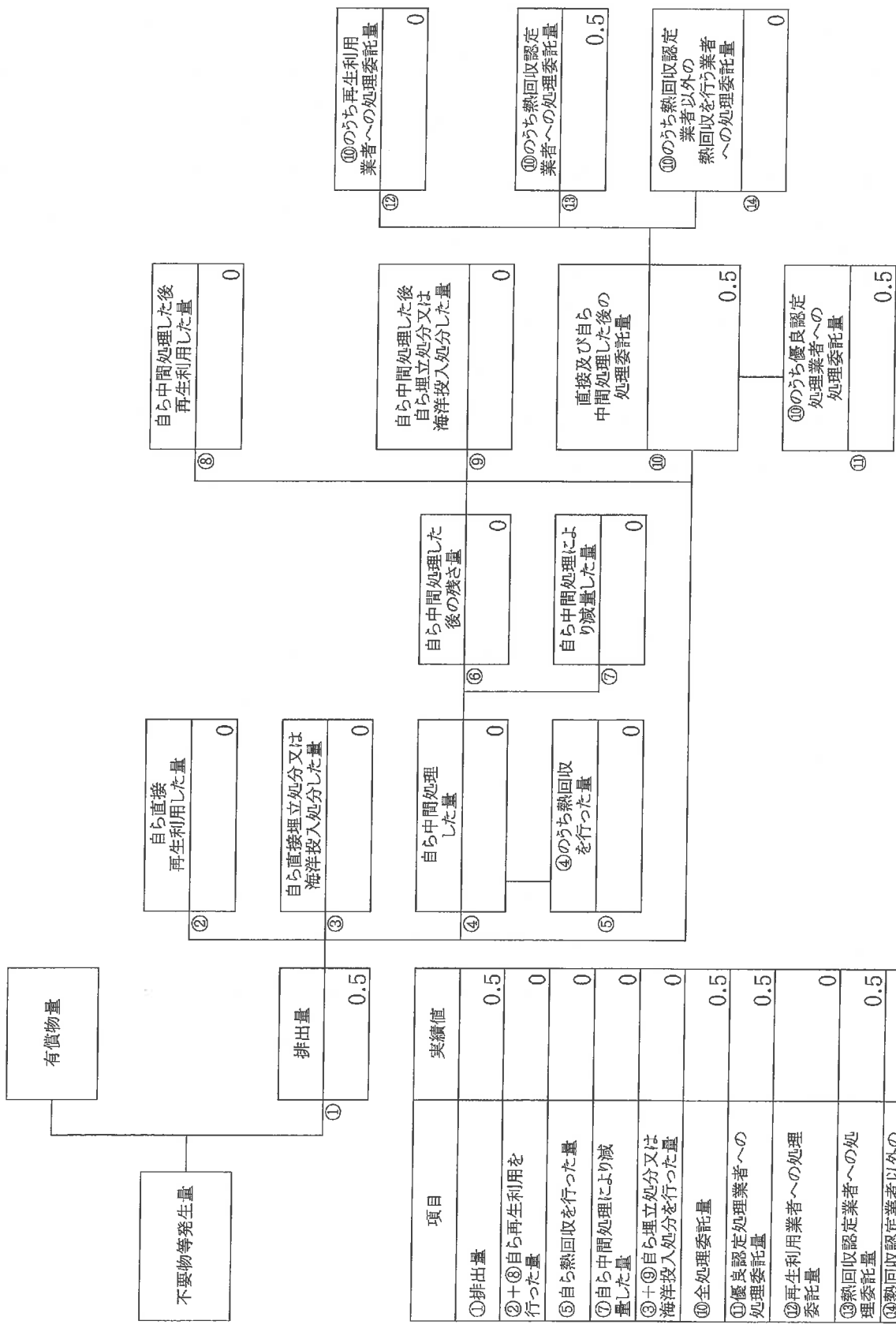


項目	実績値
①排出量	203.1
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	203.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	51
⑫再生利用業者への処理委託量	203.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

単位:t

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	0.5
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.5
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑧	自ら中間処理した後再生利用した量	0
---	------------------	---

⑨	自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	--------------------------	---

⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	0.5
---	---------------------	-----

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0.5
---	---------------------	-----

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0
---	-------------------	---

⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.5
---	--------------------	-----

⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0
---	-------------------------------	---

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。